

令和6年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	宮城県		市町村類型	I - O	指定団体等の指定状況		区分		令和6年度(千円)		令和5年度(千円)		区分		令和6年度(千円・%)	令和5年度(千円・%)		
					財政健全化等	×	歳入総額	21,448,910	21,266,517	実質収支比率	4.4	4.3						
市町村名	角田市		地方交付税種地	2-3	財源超過	×	歳出総額	20,826,976	20,780,319	経常収支比率	95.3	98.7			(95.6)	(99.4)		
					首都	×	歳入歳出差引	622,934	486,198	(※1)								
					近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	244,309	128,345	標準財政規模	8,597,586	8,375,811						
					中部	×	実質収支	378,625	357,853	財政力指数	0.50	0.50						
人口	令和2年国調(人)	27,976	産業構造(※5)		中部	×	単年度収支	20,772	-204,469	公債費負担比率	9.9	9.5						
	平成27年国調(人)	30,180			過疎	×	積立金	1,255	39	健全化判断比率								
	増減率(%)	-7.3			山振	×	繰上償還金	0	0	実質赤字比率	-	-						
住民基本台帳人口(※7)	令和07.01.01(人)	26,469	第1次	令和2年国調	985	1,099	低開発	○	積立金取崩し額	200,000	600,000	連結実質赤字比率	-	-				
	うち日本人(人)	26,177						指数表選定	○	実質単年度収支	-177,973	-804,430	実質公債費比率	11.0	10.7			
	令和06.01.01(人)	26,917	第2次		7.6	7.8			基準財政収入額	3,705,273	3,700,049	資金不足比率(※4)						
	うち日本人(人)	26,657							基準財政需要額	7,592,310	7,367,207							
	増減率(%)	-1.7				37.7	39.2		標準税収入額等	4,655,599	4,648,938							
	うち日本人(%)	-1.8	第3次			7,089	7,458		経常経費充当一般財源等	8,332,384	8,213,541							
	面積(km ²)	147.53				54.7	52.9		歳入一般財源等	15,815,035	14,854,507							
人口密度(人/km ²)	190																	
世帯数(世帯)	10,276																	
職員の状況(※8)																		
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	15,242,660	16,154,848							
	市区町村長	1	9,260		一般職員	257	767,145	2,985	うち公的資金	11,228,188	11,932,800							
	副市区町村長	1	7,320		うち消防職員	-	-	-	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	10,886,189	11,365,828							
	教育長	1	6,230		うち技能労務職員	7	20,426	2,918	債務負担行為額(支出予定額)	2,207,769	2,524,020							
	議会議長	1	4,480		教育公務員	2	*	*	収益事業収入	-	-							
	議会副議長	1	3,770		臨時職員	-	-	-	土地開発基金現在高	450,000	450,000							
	議会議員	14	3,530		合計	259	773,557	2,987	積立金現在高	1,657,855	1,668,747							
						ラスパイレシ指数			96.5	減債基金	1,564,663	1,663,496						
										その他特定目的基金	6,307,553	4,846,413						
	一般会計等の一覧																	
項番	会計名	事業会計の一覧				公営企業(法適)の一覧				公営企業(法非適)の一覧				関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧		
(1)	一般会計	(2)	角田市国民健康保険事業特別会計	(5)	角田市水道事業会計	(7)	角田市産業用地造成事業特別会計	(8)	仙南地域広域行政事務組合	(15)	角田市地域振興公社							
		(3)	角田市介護保険特別会計	(6)	角田市下水道事業会計			(9)	みやぎ県南中核病院企業団	(16)	角田市農業振興公社							
		(4)	角田市後期高齢者医療特別会計					(10)	宮城県市町村非常勤消防団員補償報償組合	(17)	まちづくり角田							
								(11)	宮城県市町村職員退職手当組合	(18)	阿武隈急行株式会社							
								(12)	宮城県市町村自治振興センター									
								(13)	宮城県後期高齢者医療広域連合									
								(14)	宮城県後期高齢者医療事業会計									

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※8: 職員の状況については、調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)					地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	3,722,215	17.4	3,542,559	40.7	普通税	3,537,057	95.0	-	
地方譲与税	178,858	0.8	178,858	2.1	法定普通税	3,537,057	95.0	-	
利子割交付金	987	0.0	987	0.0	市町村民税	1,311,930	35.2	-	
配当割交付金	16,810	0.1	16,810	0.2	個人均等割	41,167	1.1	-	
株式等譲渡所得割交付金	22,406	0.1	22,406	0.3	所得割	1,016,741	27.3	-	
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	80,102	2.2	-	
地方消費税交付金	742,962	3.5	742,962	8.5	法人税割	173,920	4.7	-	
ゴルフ場利用税交付金	2,738	0.0	2,738	0.0	固定資産税	1,866,446	50.1	-	
自動車取得税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	1,865,531	50.1	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	126,662	3.4	-	
自動車税環境性能割交付金	23,230	0.1	23,230	0.3	市町村たばこ税	232,019	6.2	-	
法人事業税交付金	78,076	0.4	78,076	0.9	鉱産税	-	-	-	
地方特例交付金等	134,454	0.6	134,454	1.5	特別土地保有税	-	-	-	
住宅借入金等特別税額控除減収補填特例交付金	22,345	0.1	22,345	0.3	法定外普通税	-	-	-	
定額減収減収補填特例交付金	111,223	0.5	111,223	1.3	目的税	185,158	5.0	-	
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特例交付金	886	0.0	886	0.0	法定目的税	185,158	5.0	-	
地方交付税	4,527,827	21.1	3,911,993	44.9	入湯税	5,502	0.1	-	
普通交付税	3,911,993	18.2	3,911,993	44.9	事業所税	-	-	-	
特別交付税	550,207	2.6	-	-	都市計画税	179,656	4.8	-	
震災復興特別交付税	65,627	0.3	-	-	水利地益税等	-	-	-	
(一般財源計)	9,450,563	44.1	8,655,073	99.3	法定外目的税	-	-	-	
交通安全対策特別交付金	2,889	0.0	2,889	0.0	旧法による税	-	-	-	
分担金・負担金	11,040	0.1	-	-	合計	3,722,215	100.0	-	
使用料	94,640	0.4	19,920	0.2					
手数料	15,136	0.1	-	-					
国庫支出金	2,084,013	9.7	-	-					
国有提供交付金(特別区財調交付金)	14,297	0.1	14,297	0.2					
都道府県支出金	945,028	4.4	-	-					
財産収入	22,411	0.1	13,393	0.2					
寄附金	4,933,264	23.0	-	-					
繰入金	2,691,508	12.5	-	-					
繰越金	298,345	1.4	-	-					
諸収入	282,182	1.3	8,404	0.1					
地方債	604,594	2.8	-	-					
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	29,994	0.1	-	-					
歳入合計	21,449,910	100.0	8,713,976	100.0					

区分	令和6年度	令和5年度
徴収率(%)	99.2	95.5
現年計	99.3	95.8
合計	99.1	95.1
市町村民税	95.8	95.1
純固定資産税	95.1	94.8

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	2,187,404	実質収支	78,708
下水道	572,816	再差引収支	23,715
病院	353,240	加入世帯数(世帯)	3,799
上水道	9,355	被保険者数(人)	5,729
宅地造成	8,384	被保険者	104
国民健康保険	297,402	1人当り	1
その他	946,207	保険給付費	431

歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	157,400	0.8	-	157,400	
総務費	7,709,123	37.0	104,894	6,770,768	
民生費	4,824,100	23.2	49,754	2,710,514	
衛生費	1,066,149	5.1	13,142	900,173	
労働費	15,221	0.1	-	15,221	
農林水産業費	703,609	3.4	155,255	410,163	
商工費	394,610	1.9	33,472	138,892	
土木費	1,625,884	7.8	663,560	856,897	
消防費	497,829	2.4	64,882	453,641	
教育費	2,260,701	10.9	127,575	1,209,801	
災害復旧費	1,516	0.0	-	1,516	
公債費	1,570,834	7.5	-	1,567,115	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	20,826,976	100.0	1,212,534	15,192,101	

性質別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	7,200,211	34.6	5,245,467	4,646,869	53.1
人件費	2,859,056	13.7	2,655,337	2,463,663	28.2
うち職員給	1,634,474	7.8	1,536,408	-	-
扶助費	2,770,321	13.3	1,023,015	616,091	7.0
公債費	1,570,834	7.5	1,567,115	1,567,115	17.9
元利償還金	1,570,678	7.5	1,566,959	1,566,959	17.9
うち元金	1,516,782	7.3	1,513,248	1,513,248	17.3
うち利子	53,896	0.3	53,711	53,711	0.6
一時借入金利子	156	0.0	156	156	0.0
その他の経費	12,412,715	59.6	9,661,601	3,685,515	42.1
物件費	3,227,563	15.5	2,407,744	1,218,086	13.9
維持補修費	300,587	1.4	112,833	112,833	1.3
補助費等	3,508,985	16.8	3,175,415	1,294,460	14.8
うち一部事務組合負担金	588,934	2.8	588,934	549,712	6.3
繰出金	1,251,993	6.0	1,017,578	958,987	11.0
積立金	3,796,941	18.2	2,777,600	-	-
投資・出資金・貸付金	326,646	1.6	170,431	101,149	1.2
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	1,214,050	5.8	285,033	-	-
うち人件費	51,470	0.2	47,933	-	-
普通建設事業費	1,212,534	5.8	283,517	-	-
うち補助	503,970	2.4	11,708	-	-
うち単独	598,413	2.9	254,694	-	-
災害復旧事業費	1,516	0.0	1,516	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	20,826,976	100.0	15,192,101	-	-

(注釈)
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

令和6年度 宮城県角田市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	21,468	20,845	623	379	2,692	15,243	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							
298							

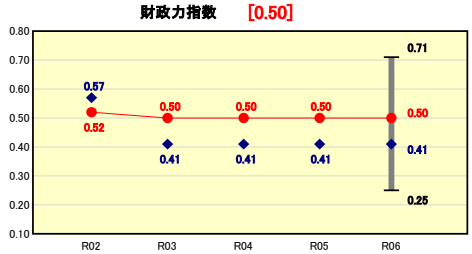
(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	26,469	人(77.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	26,177	人(77.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	147.53	km ²	実質公債費比率	11.0	%
歳入総額	21,449,910	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	20,826,976	千円			
実質収支	378,625	千円	市町村類型	R02 I-2 R03 I-O R04 I-O	
標準財政規模	8,597,586	千円	(年度毎)	R05 I-O R06 I-O	
地方債現在高	15,242,660	千円			



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
 ※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスパイレズ指数」については、各調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

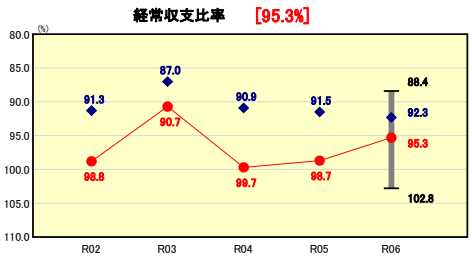
財政力



類似団体内順位 6/25 全国平均 0.49 宮城県平均 0.53

財政力指数の分析欄
 令和5年度に続き、類似団体平均と比較して高い水準となった。
 令和6年度においては、市町村民税法人割などの影響や定額減税減収補填交付金の算入により基準財政収入額が微増し、令和元年度台風に伴う災害復旧債や歳入欠かん債の償還開始等により基準財政需要額の増加となった。
 令和6年度の財政力指数については前年度と比較して単年度は0.01ポイント減少、3か年の平均は変動がなかった。
 今後も課税客体の適切な把握や徴収強化等の税収増加に向けた取組を進めるとともに、一層の歳出削減を図ることで、財政基盤の強化に努める。

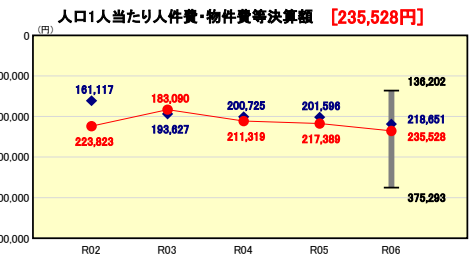
財政構造の弾力性



類似団体内順位 21/25 全国平均 93.8 宮城県平均 97.9

経常収支比率の分析欄
 令和6年度においては、前年度比で3.4ポイントの減となっている。主な要因としては、分子である歳出が、人事院勧告に伴う給与改定等により人件費が1億5,413万円増加したことや令和元年度台風災害に伴う災害復旧事業債の償還開始等により公債費が1億5,218万円増加したことにより経常的支出が増加した一方で、分母である歳入が、定額減税の実施に伴う減収分補填のための地方特別交付金が1億1,126万円増となったほか、普通交付税が2億4,443万円の増となり、経常的支出よりも経常的収入が上回ったことにより比率が改善した。今後も財政健全化等の取組を通じて、より一層の経常経費の抑制に努める。

人件費・物件費等の状況



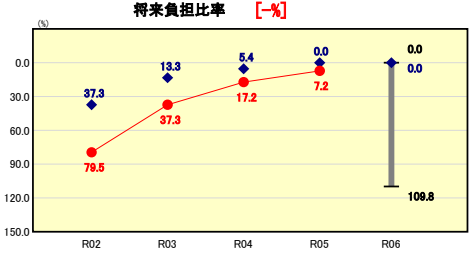
類似団体内順位 13/25 全国平均 169,281 宮城県平均 194,112

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
 令和5年度に続き、類似団体と比較してやや高い水準となった。
 物件費が1億7,867万円の増、維持補修費が1,979万円の増、人件費が1億8,234万円の増となったことで前年度と比べ約18千円の増となった。
 ふるさと納税事業に係る事務費の増等により令和元年度以前に比べると、依然として高い水準となっているため、今後も既存事業の見直し等を図りながら、物件費等の削減に努める。

令和6年度

宮城県角田市

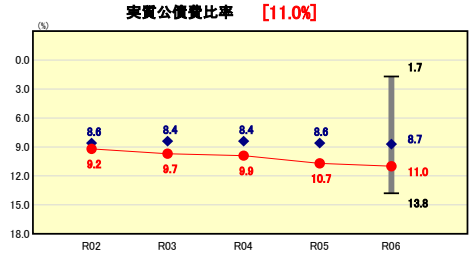
将来負担の状況



類似団体内順位 1/25 全国平均 6.2 宮城県平均 12.3

将来負担比率の分析欄
 過去の投資的事業に係る市債借入により令和2年度までは高い水準となっていたが、令和3年度からは減少傾向にある。
 令和6年度においては、地方債現在高や組合等負担等見込額の減により将来負担額が約2億円減少し、ふるさと応援基金や学校施設整備基金への積み立てや、新たに創設した阿武隈急行線応援基金、教育振興基金に積み立てを行ったことにより充当可能額が約9.8億円増加したことで、全体の比率が減少した。
 令和7年度以降も、公共施設の長寿命化に係る改修や防災・減災構想に係る工事の実施等により多額の市債発行を予定しており、再度比率が上昇することが見込まれるため、更なる事業実施の適正化を図り、財政の健全化に努める。

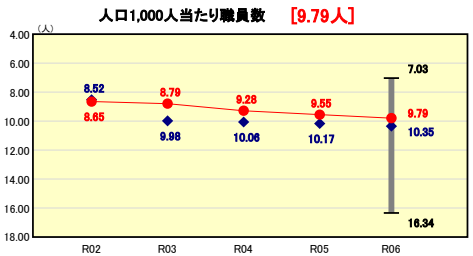
公債費負担の状況



類似団体内順位 21/25 全国平均 5.6 宮城県平均 5.6

実質公債費比率の分析欄
 令和2年度以降、類似団体平均と比較して高い水準で推移している。
 令和6年度においては、令和2年度に借り入れた歳入欠かん債や令和3年度に借り入れた令和元年度台風災害復旧債の元利償還が始まったことにより、0.3ポイント上昇した。令和7年度以降も令和4年度に借り入れた旧保育所の除却債や地域鉄道対策事業に係る市債の償還開始により更なる比率の上昇が見込まれることから、財政健全化を図るため計画的かつ効率的な財政運営に努める。

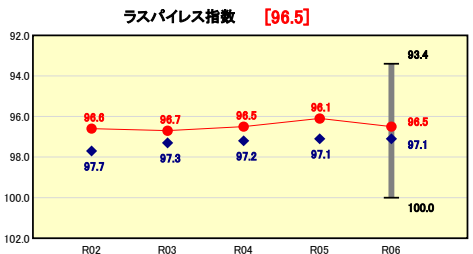
定員管理の状況



類似団体内順位 11/25 全国平均 8.41 宮城県平均 10.37

人口1,000人当たり職員数の分析欄
 令和2年度まで類似団体平均と同程度の水準で推移していたが、令和3年度からは市町村類型が変更となったことで、類似団体と比較して低い水準となっている。
 令和6年度においては、前年度と比較して0.24人増加しているものの、人口の減少は今後も続くことが見込まれるため、引き続き窓口業務等の民間委託など既存事務事業の見直しを行い、職員数の適正化を図る。

給与水準(国との比較)



類似団体内順位 9/25 全国市平均 98.6 全国町村平均 98.4

ラスパイレズ指数の分析欄
 類似団体平均と比較して低い水準で推移している。
 震災後2年間の国家公務員給与の限定的な給与削減が終了し、平成25年度以降の当市のラスパイレズ指数は再び100を割り込んでいる。
 令和6年度においては、前年度と比較して0.4ポイント増となった。これは、職員の新陳代謝による平均給与の減額よりも、経験年数階層の変動や昇格基準の見直しによる平均給与の増額が大きかったためである。
 今後も、角田市職員人育成基本方針に基づき、人事評価の適切な実施・活用を目指した人事管理を推進し、より一層の給与の適正化に努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和6年度

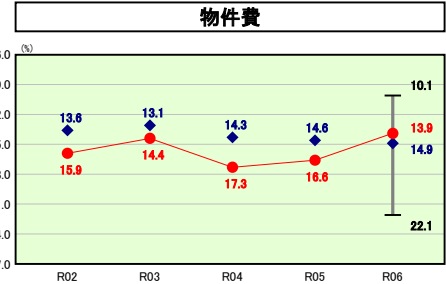
宮城県角田市

経常収支比率の分析

人口	26,469	人(R7.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	26,177	人(R7.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	147.53	km ²	実質公債費比率	11.0	%
歳入総額	21,449,910	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	20,826,976	千円	市町村類型	R02 I-2 R03 I-O R04 I-O	
実質収支	378,625	千円	(年度毎)	R05 I-O R06 I-O	
標準財政規模	8,597,586	千円			
地方債現在高	15,242,660	千円			

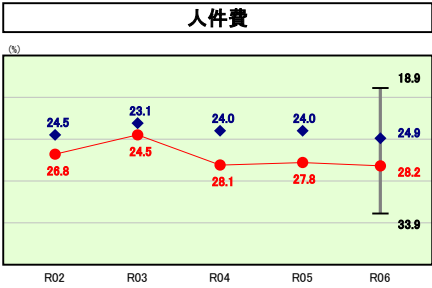
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

● 当該団体値
 ◆ 類似団体内平均値
 T 類似団体内の最大値及び最小値



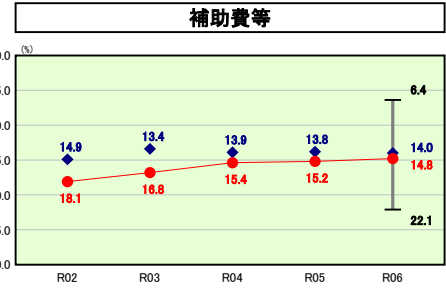
類似団体内順位 11/25 全国平均 15.0 宮城県平均 16.2

物件費の分析欄
 令和6年度は、類似団体平均と比較して低い水準となった。
 学校給食費無償化に要する経費への基金からの繰入金により歳出（経常経費一般財源）が減少し、また普通交付税など歳入（経常一般財源）の増加により2.7ポイント下降した。
 基金繰入金による歳出（経常経費一般財源）への影響が大きく、物件費全体では増加傾向であるため、今後もより一層のコスト削減に努める。



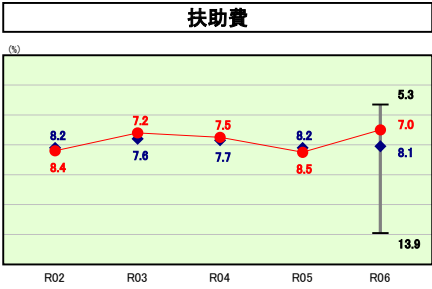
類似団体内順位 19/25 全国平均 26.6 宮城県平均 30.1

人件費の分析欄
 類似団体平均と比較して給与水準は低い（(3)参照）が、人件費における経常経費は平均を超える水準で推移している。これは、人件費において類似団体と比較して会計年度職員数が多いことが要因となっている。
 令和6年度は職員人件費（職員給与）の増により0.4ポイント上昇した。
 今後も市税の徴収強化等により経常一般財源の確保に努めるとともに、事務事業の見直し等により、会計年度任用職員数の抑制を図る。



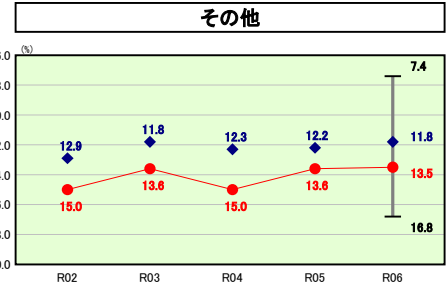
類似団体内順位 14/25 全国平均 10.7 宮城県平均 11.5

補助費等の分析欄
 類似団体平均と比較して、令和2年度から高い水準で推移している。これは、令和2年度に下水道事業が公営企業法適用となったことで、下水道事業への繰出を負担金及び補助金として支出することとなったことが要因である。
 令和6年度は、補助費全体では事業費が増加しているが、普通交付税など歳入（経常一般財源）の増加により前年度に比べて0.4ポイント下降した。
 依然として類似団体平均より高い水準であるため、各種補助金の見直し、特に目的を達成した補助事業については削減を行うなど、経費の適正化に努める。



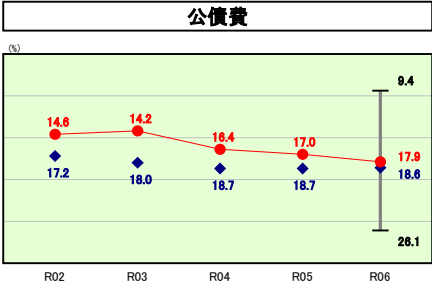
類似団体内順位 7/25 全国平均 13.4 宮城県平均 11.3

扶助費の分析欄
 類似団体平均と同程度の水準で推移している。
 令和6年度は障害福祉サービス費や生活保護扶助費の減少により前年度と比較して1.5ポイント下降し、類似団体平均より低い水準となった。
 経済状況や少子高齢化等による今後の扶助費の増加に備え、その動向を注視していくとともに、今後も経常一般財源の確保に努める。



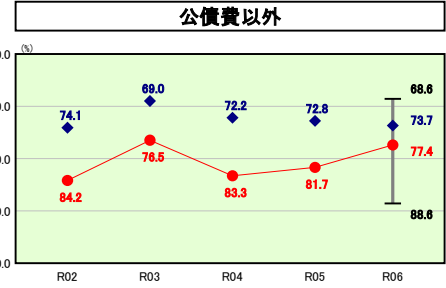
類似団体内順位 19/25 全国平均 12.5 宮城県平均 12.8

その他の分析欄
 令和元年度までは他会計への繰出金が多額のため類似団体平均と比較して高い水準で推移していたが、下水道事業が公営企業法適用となった令和2年度からは平均値に近い水準で推移している。
 令和6年度は、特別会計に対する繰入金と維持補修費等の経費が増加したが、普通交付税など歳入（経常一般財源）の増加により、前年度比で0.1ポイント下降した。
 依然として類似団体平均より高い水準であるため、事業見直しや経費削減等に努める。



類似団体内順位 9/25 全国平均 15.0 宮城県平均 16.0

公債費の分析欄
 類似団体平均と比較して低い水準で推移している。
 令和6年度は、令和2年度に借り入れた歳入欠かん債や臨時財政対策債、令和3年度に借り入れた令和元年台風災害復旧債が償還開始となり公債費が増となり0.9ポイント上昇した。
 今後も、令和4年度に借り入れた旧保育所の除却債や地域鉄道対策事業に係る市債に係る償還開始が予定されており、更なる比率上昇の要因が続くことから、引き続き適正な公債費の管理に努める。



類似団体内順位 22/25 全国平均 78.8 宮城県平均 81.9

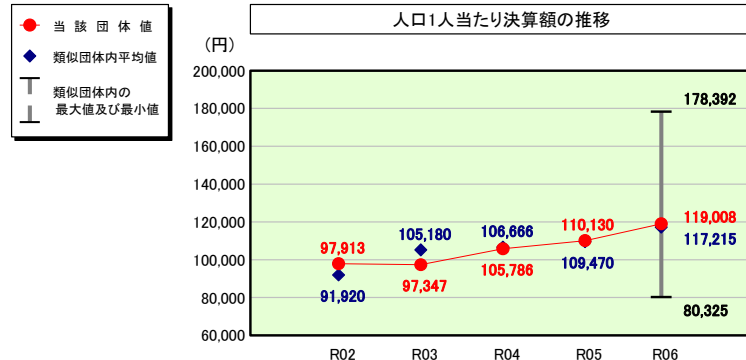
公債費以外の分析欄
 類似団体と比較して高い水準で推移している。これは、上記「人件費」及び「物件費」の比率が高いことが要因である。
 令和6年度においては、物件費及び扶助費が減少したこと、普通交付税など歳入（経常一般財源）が増加したことで4.3ポイント下降した。
 今後の財政運営の硬直化を防ぐため行財政改革を推進し、経常収支比率上昇の抑制に努める。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和6年度

宮城県角田市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

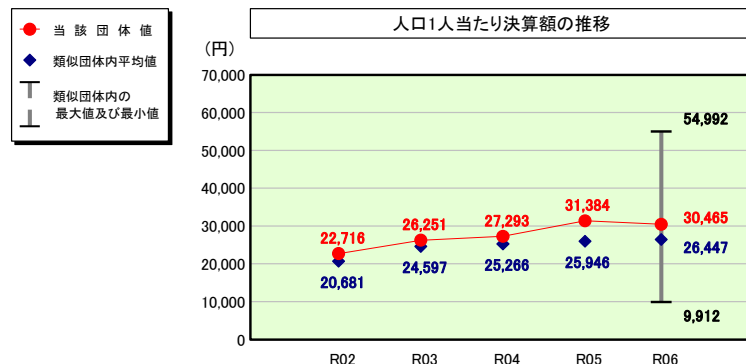
	当該団体決算額 (千円)		人口1人当たり決算額	
	当該団体 (千円)	当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	2,859,056	108,015	105,759	▲ 2.1
一部事務組合負担金(補助費等)	337,359	12,745	10,117	▲ 26.0
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	1,625	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	17	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	106,605	4,028	4,122	▲ 2.3
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	51,470	1,945	2,482	▲ 21.6
▲退職金	▲ 204,478	▲ 7,725	▲ 6,906	▲ 11.9
合計	3,150,012	119,008	117,215	1.5

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	9.79	10.35	▲ 0.56
ラスパイレス指数	96.5	97.1	▲ 0.6

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

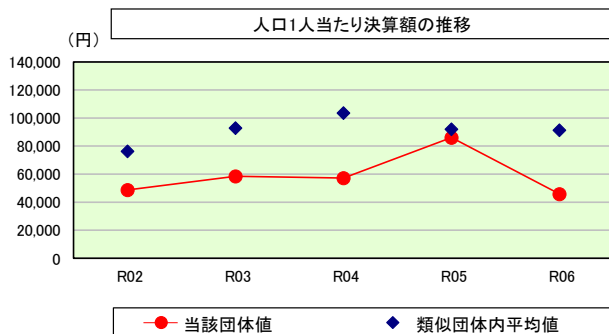
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)		人口1人当たり決算額	
	当該団体 (千円)	当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額(繰上償還額等を除く)	1,570,678	59,340	71,795	▲ 17.3
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの(年度割相当額)	-	-	-	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	418,659	15,817	17,107	▲ 7.5
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金	178,945	6,761	3,528	91.6
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	3,627	137	388	▲ 64.7
一時借入金利子(同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	2	-
▲特定財源の額	▲ 151,474	▲ 5,723	▲ 3,420	67.3
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,214,058	▲ 45,867	▲ 62,953	▲ 27.1
合計	806,377	30,465	26,447	15.2

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

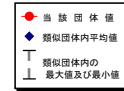
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	
R02	1,374,408	48,717	1.2	76,347	2.4	▲ 1.2
うち単独分	457,447	16,215	▲ 15.3	41,762	0.5	▲ 15.8
R03	1,624,560	58,501	20.1	92,919	21.7	▲ 1.6
うち単独分	670,546	24,146	48.9	54,128	29.6	▲ 19.3
R04	1,561,232	57,268	▲ 2.1	103,663	11.6	▲ 13.7
うち単独分	882,995	32,389	34.1	64,346	18.9	▲ 15.2
R05	2,317,583	86,101	50.3	92,012	▲ 11.2	61.5
うち単独分	1,370,373	50,911	57.2	61,382	▲ 4.6	61.8
R06	1,212,534	45,810	▲ 46.8	91,317	▲ 0.8	▲ 46.0
うち単独分	598,413	22,608	▲ 55.6	56,480	▲ 8.0	▲ 47.6
過去5年間平均	1,618,063	59,279	4.5	91,252	4.7	▲ 0.2
うち単独分	795,955	29,254	13.9	55,620	7.3	6.6

(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

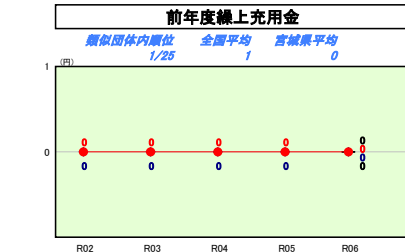
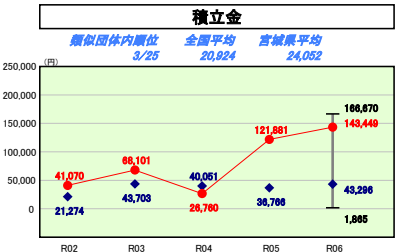
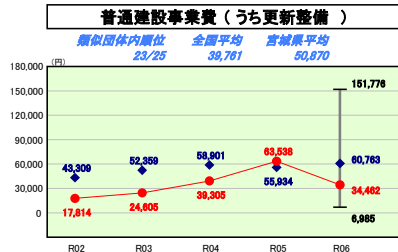
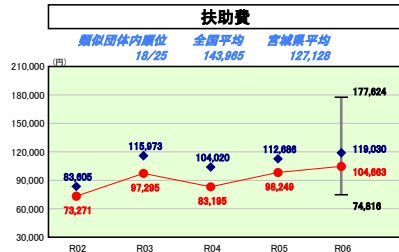
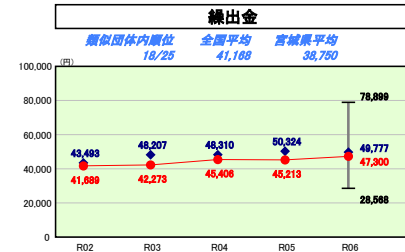
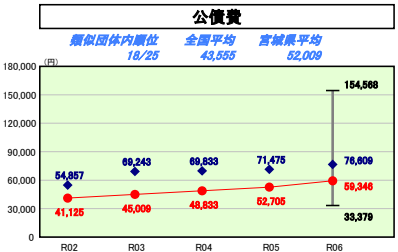
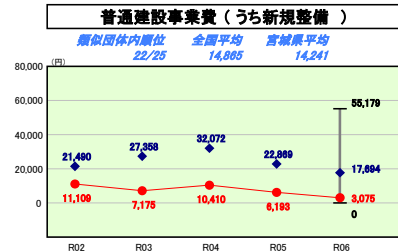
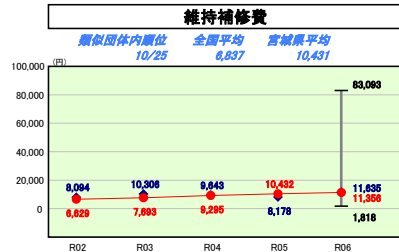
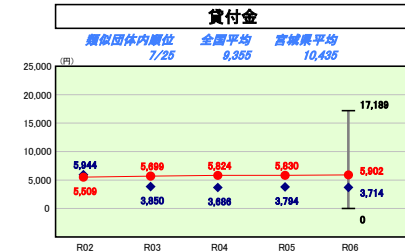
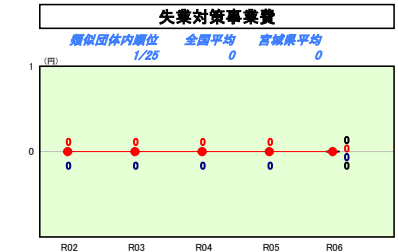
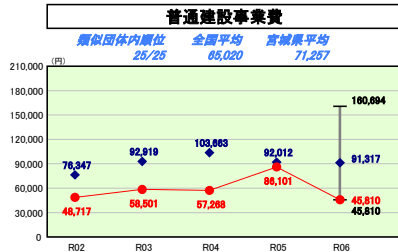
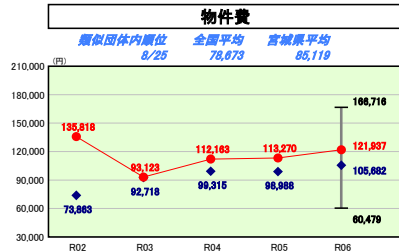
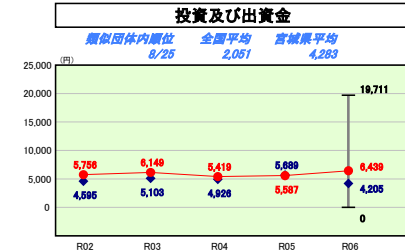
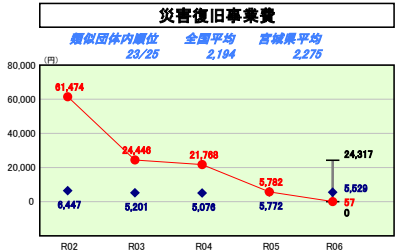
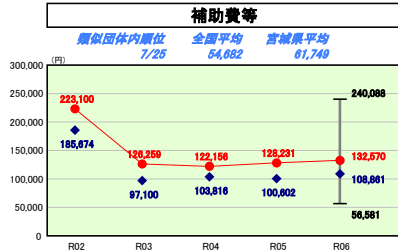
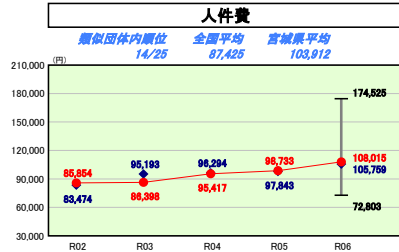
令和6年度

宮城県角田市

人口	28,469人(07.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	26,177人(07.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
世帯数	147,53世帯	実質公債費比率	11.0%
歳入総額	21,440,910千円	将来負担比率	-%
歳出総額	20,826,976千円	市町村類型	R02 I-2 R03 I-0 R04 I-0
実質収支	378,625千円	(年度毎)	R05 I-0 R06 I-0
標準財政規模	8,597,586千円		
地方債現在高	15,242,660千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と云う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析

人件費、物件費、補助費等、積立金、投資及び出資金、貸付金が類似団体平均と比較して住民一人当たりのコストが高くなっている。
 人件費について、昇給及び人事院勧告に伴う増加により数値が上昇し、類似団体平均より高い水準となった。物件費について、ふるさと納税事業に係る物件費の増加が大きく影響し、類似団体平均より高い水準となった。補助費等について、令和2年度に下水道事業が公営企業法適用となったことで、下水道事業への繰出を負担金及び補助金から支出することから大幅に上昇する要因となった。令和6年度は、ふるさと納税事業の寄付者に対する返礼品に係る支出が増加し、依然として類似団体平均を上回る水準となっている。積立金については、既存の基金のほか、新たに創設した阿武隈急行線応援基金や教育振興基金への積立額が増加したことにより、前年度に引き続き類似団体平均を大きく上回る要因となった。投資及び出資金について、医療機器導入のための企業債の償還が開始したことにより、みやぎ県南中核病院企業団への出資金が増加し、類似団体平均より高い水準となった。また、公債費については、臨時財政対策債や歳入次かん債、令和元年台風災害復旧債の元金償還が開始したことにより上昇している。今後も、和4年度に借り入れた旧保百所の除却債、地域鉄道対策事業に係る市債の償還開始により、さらに数値が上昇していくことが見込まれる。
 以上のコスト高に対応するため、引き続き市税等の確保に努めるとともに、令和3年3月策定の「角田市第5次行政財政改革プラン」(令和3年度～令和8年度)に掲げた定員の適正化及び財政健全化等の取組を通じて、計画的かつ効果的な財政運営に努める。

(6) 市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

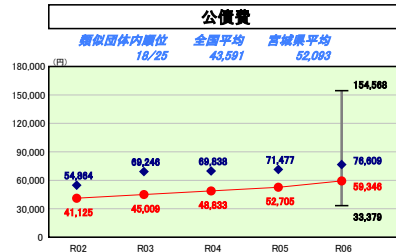
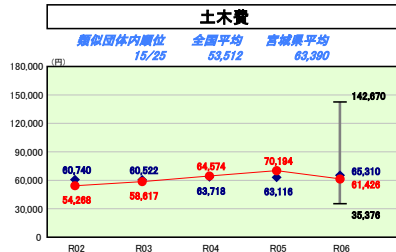
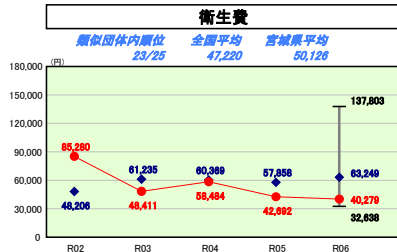
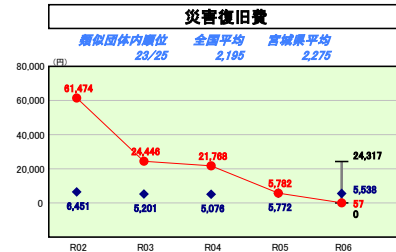
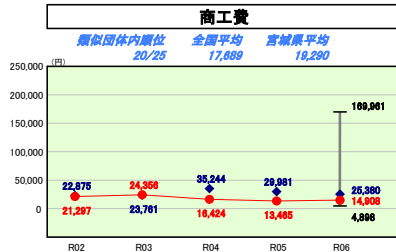
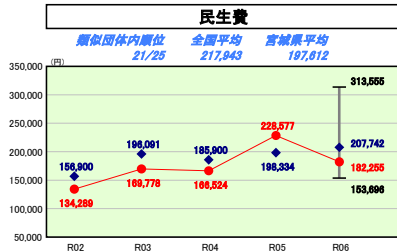
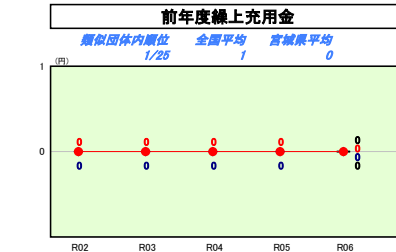
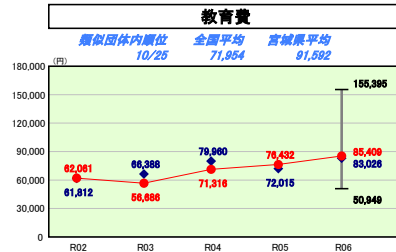
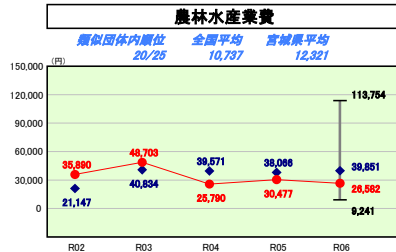
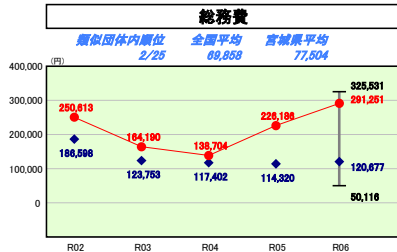
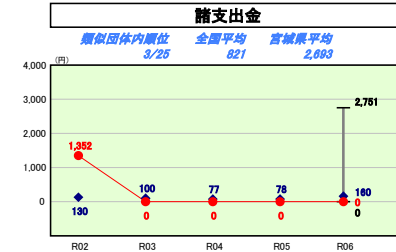
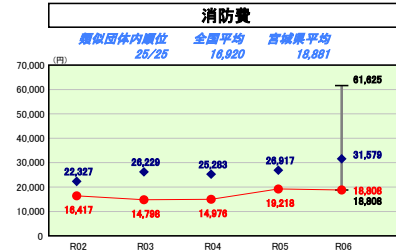
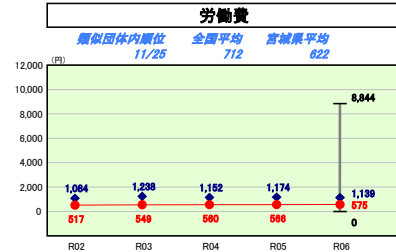
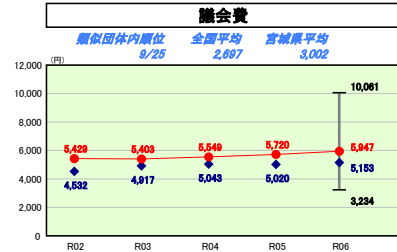
令和6年度

宮城県角田市

人口	28,469人(07.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	26,177人(07.1.1現在)	通称実質赤字比率	-%
世帯	147,53世帯	実質公債費比率	11.0%
歳入総額	21,440,910千円	将来負担比率	-%
歳出総額	20,826,976千円	市町村類型	R02 I-2 R03 I-O R04 I-O
実質収支	613,934千円	(年度毎)	R05 I-O R06 I-O
標準財政規模	8,597,586千円		
地方債現在高	15,242,660千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析

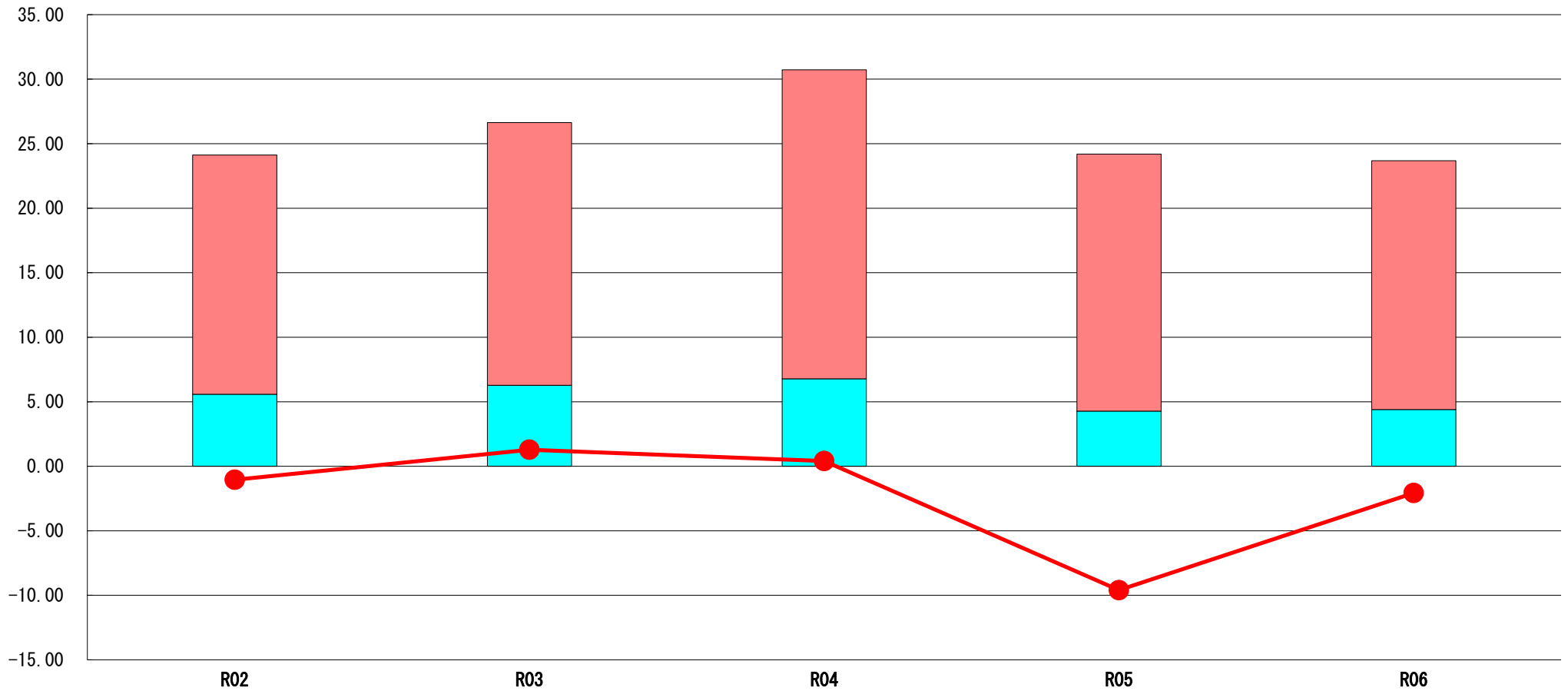
総務費、教育費等が、類似団体平均と比較して住民一人当たりのコストが高くなっている。
 総務費については、ふるさと納税事業における寄付者への返礼品等の支出やふるさと応援基金、新たに創設した阿武隈急行線応援基金への積立金等の増加により、類似団体平均を上回っている。教育費については、学校施設整備基金への積立金の増加や新たに創設した教育振興基金への積立金等の増加により、類似団体平均を上回った。
 また、現時点では類似団体平均を下回っている公債費についても、臨時財政対策債や歳入欠かん債、令和元年台風災害復旧債の元金償還が始まったことで前年度と比較して上昇しており、今後も令和4年度に借り入れた旧保育所の除却債や地域鉄道対策事業をはじめとした各種事業債の償還開始により、更なる上昇が見込まれる。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




令和6年度

宮城県角田市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	R02	R03	R04	R05	R06
 財政調整基金残高		18.54	20.36	23.95	19.92	19.28
 実質収支額		5.58	6.27	6.78	4.27	4.40
 実質単年度収支		▲ 1.05	1.28	0.40	▲ 9.60	▲ 2.07

分析欄

令和6年度は令和5年度決算剰余金1億8,785万円を積立てた一方で、歳入歳出の財源不足に対応するため2億円取り崩したことにより、財政調整基金残高は0.64ポイント下降した。

歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支は前年度より1億3,674万円の増となり、翌年度に繰越すべき財源が前年度より1億1,596万円の増となったことから、差額である実質収支額は0.13ポイント上昇した。

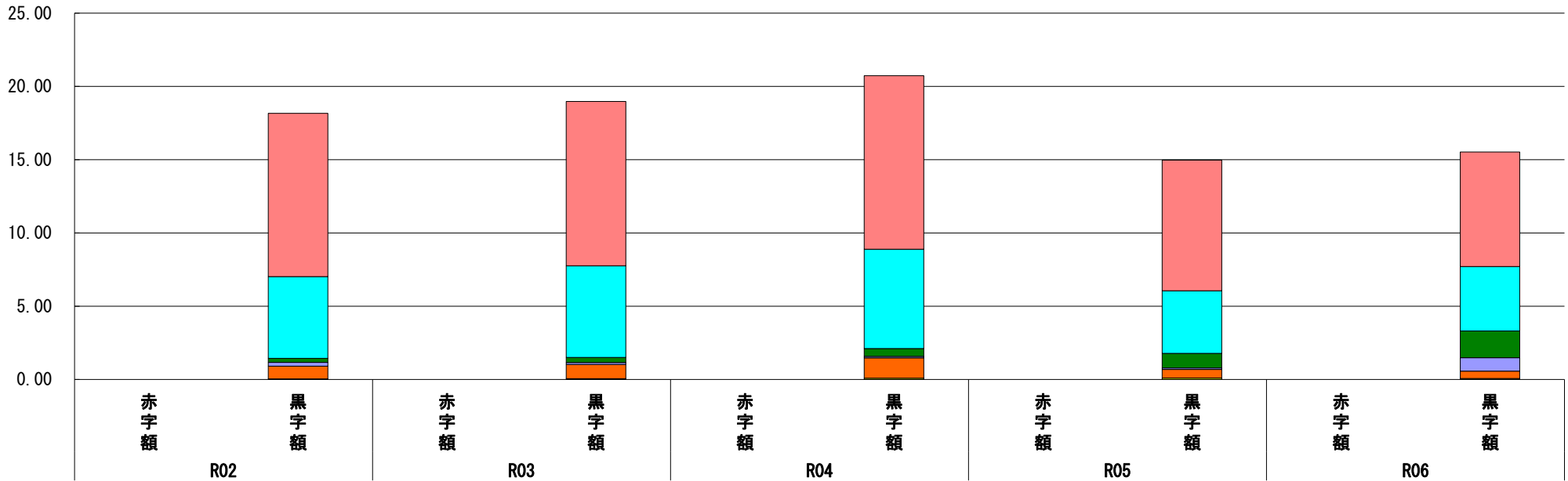
今後も令和4年度に借り入れた旧保育所の除却債や地域鉄道対策事業をはじめとした各種事業債の償還開始が続くことにより、基金取り崩し額の増加が見込まれることから、引き続き経費の削減と事業の適正化を図ることで、基金の適正水準の確保に努める。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和6年度

宮城県角田市

標準財政規模比（%）



会計	年度					
	R02	R03	R04	R05	R06	
角田市水道事業会計	11.14	11.21	11.84	8.92	7.81	
一般会計	5.58	6.26	6.78	4.27	4.40	
角田市下水道事業会計	0.27	0.34	0.53	0.99	1.83	
角田市国民健康保険事業特別会計	0.26	0.14	0.11	0.11	0.91	
角田市介護保険特別会計	0.87	0.96	1.38	0.58	0.50	
角田市後期高齢者医療特別会計	0.04	0.06	0.09	0.10	0.07	
角田市産業用地造成事業特別会計	-	-	0.00	0.00	0.00	
その他会計（赤字）	-	-	-	-	-	
その他会計（黒字）	-	-	-	-	-	

分析欄

一般会計においては形式収支が前年度比で1億3,674万円の増となり、翌年度に繰越すべき財源が前年度比で1億1,596万円の増となったことから、差額である実質収支額は前年度比で2,077万円増となった。その結果、標準財政規模比で0.13ポイント上昇し4.4ポイントとなっている。

その他の連結実質赤字比率についても、全会計で黒字であり、赤字比率の算定には至っていない。

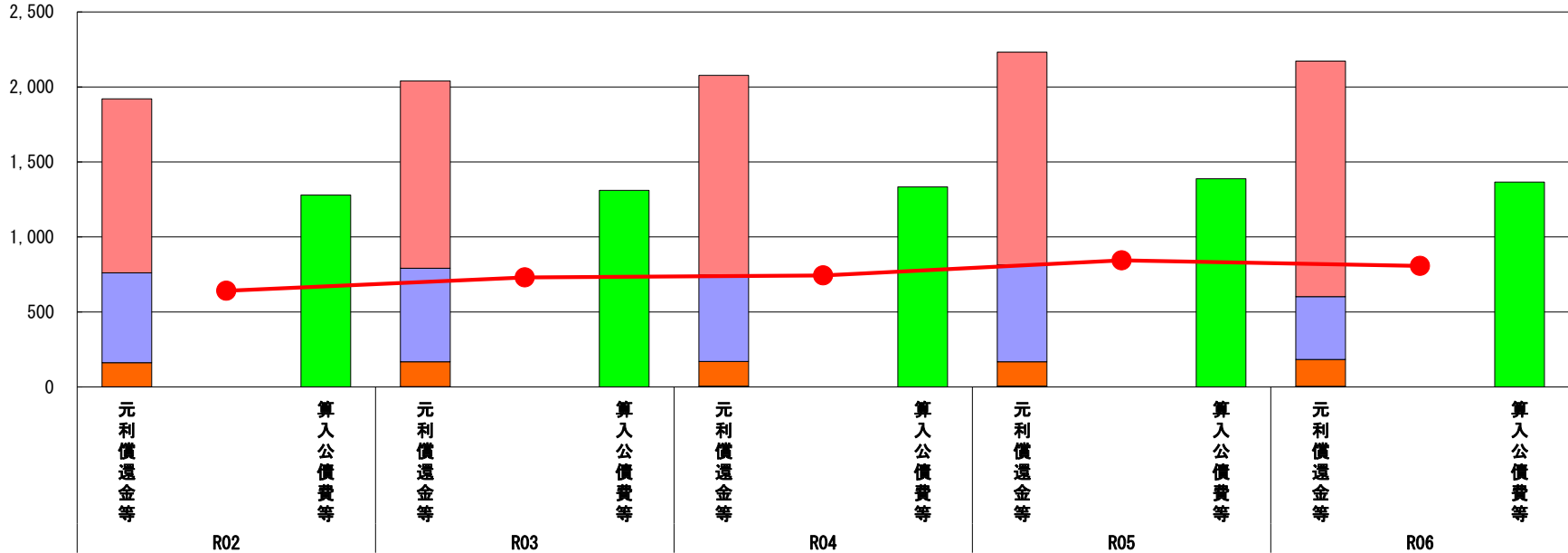
今後も計画的な事業運営を図り、健全な財政運営に努める。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和6年度

宮城県角田市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
元利償還金等(A)	元利償還金		1,160	1,250	1,331	1,418	1,571
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		599	623	576	646	419
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		161	166	165	162	179
	債務負担行為に基づく支出額		1	2	5	6	4
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等		1,280	1,311	1,334	1,388	1,366
(A)-(B)	実質公債費比率の分子		641	730	743	844	807

分析欄

元利償還等(A)においては、令和2年度に借り入れた臨時財政対策債、歳入欠かん債、令和3年度に借り入れた令和元年台風災害復旧債等の元金償還開始により元利償還金が増加した一方で、水道高料金対策に要する経費に対する繰入金の皆減に伴い公営企業債の元利償還金に充てたと認められる繰入金が増加したことにより59百万円の増となった。

算入公債費等(B)において22百万円の減となったことで、実質公債費比率の分子((A)-(B))は前年度と比較して37百万円の減となった。

今後も、各種事業債の償還が続くことにより公債費の増加が見込まれることから、財政健全化を図るための一層の計画的かつ効率的な財政運営に努める。

※ 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D)/(E))

(参考)

(百万円)

減債基金積立状況等(注)		年度	R02	R03	R04	R05	R06
減債基金積立状況等(注)	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額(C)						
	前年度末減債基金残高(D)						
	前年度末減債基金積立相当額(E)						

分析欄

満期一括償還方式を採用している借入はない。

(注) 減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。

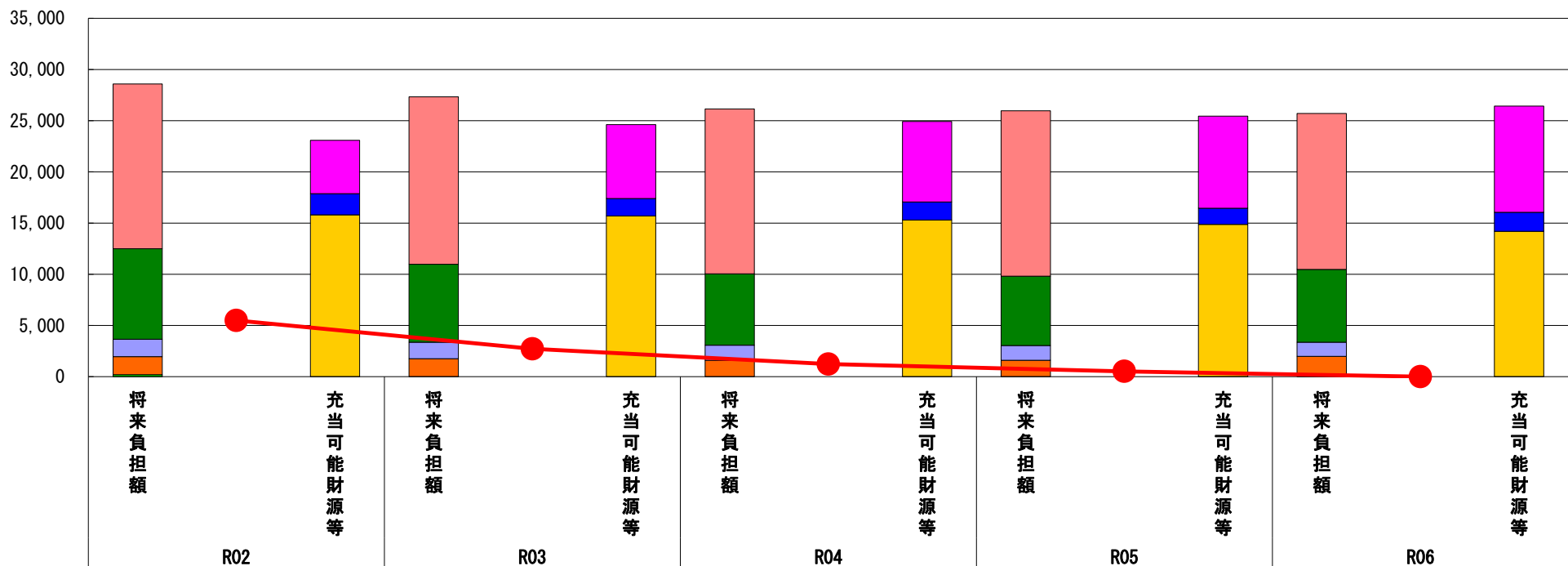
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和6年度

宮城県角田市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		16,090	16,359	16,108	16,155	15,243
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		8,830	7,619	6,973	6,767	7,105
	組合等負担等見込額		1,705	1,602	1,467	1,434	1,384
	退職手当負担見込額		1,761	1,756	1,602	1,606	1,863
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		194	-	-	-	117
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		5,220	7,213	7,865	8,998	10,378
	充当可能特定歳入		2,060	1,708	1,752	1,571	1,849
	基準財政需要額算入見込額		15,810	15,696	15,304	14,876	14,195
(A) - (B)	将来負担比率の分子		5,490	2,719	1,229	515	▲ 709

分析欄

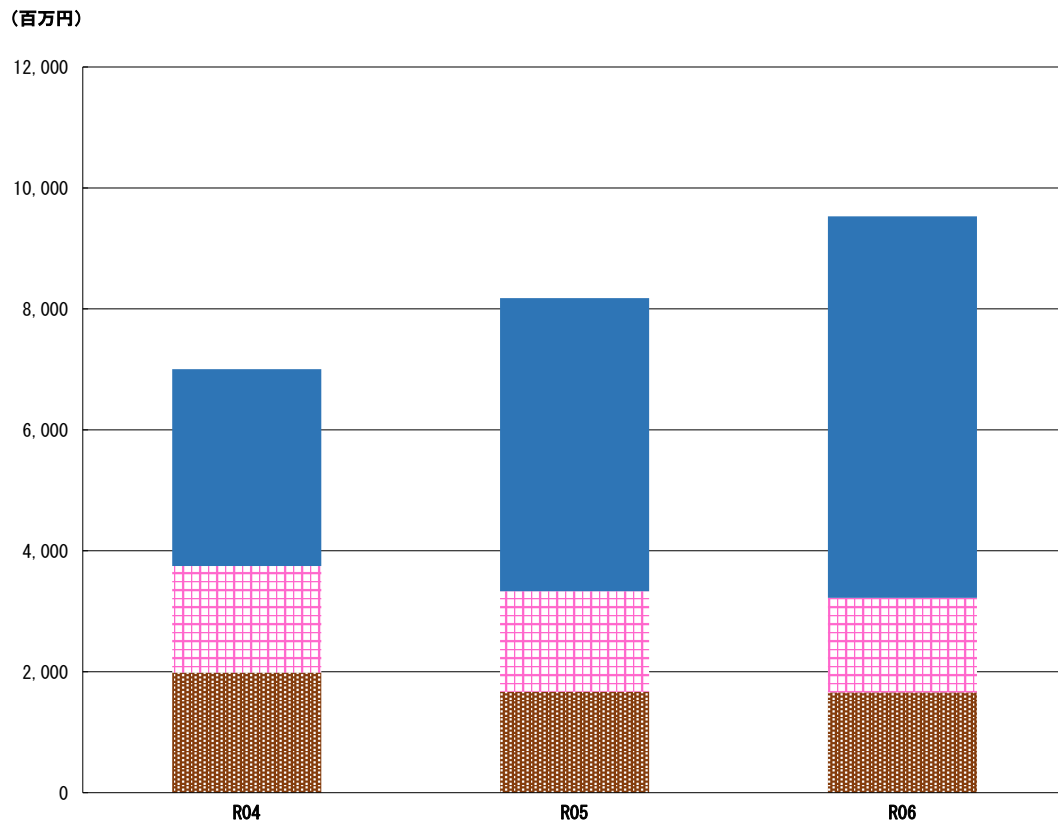
将来負担額(A)においては、一般会計等に係る地方債の現在高912百万円の減を主要因として、組合等負担等見込額が50百万円の減となったことなどから、全体で250百万円の減となった。

充当可能財源等(B)においては、阿武隈急行線応援基金や教育振興基金の創設、ふるさと応援基金や学校施設整備基金の積み立てによって充当可能基金が1,380百万円の増となるなど、全体で977百万円の増となった。




これらの要因により、将来負担比率の分子((A)-(B))は前年度と比較し、1,224百万円減少している。

令和7年度以降においても、公共施設の長寿化に係る改修や防災・減災構想に係る工事の実施等により、多額の市債発行を予定しており、さらに現在高が増加することが見込まれることから、令和3年3月策定の「角田市第5次行財政集中改革プラン」（令和3年度～令和8年度）に基づく行財政改革を推進し、一層の将来負担の低減化を図る。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



(百万円)

区分	年度	R04	R05	R06
 財政調整基金		1,986	1,669	1,658
 減債基金		1,763	1,663	1,565
 その他特定目的基金		3,254	4,846	6,308
公共施設強靱化対策基金		1,943	1,901	1,759
ふるさと応援基金		-	636	1,494
子ども子育て未来基金		477	1,427	1,263
学校施設整備基金		100	200	500
阿武隈急行線応援基金		-	-	500
基金残高合計		7,004	8,179	9,530

令和6年度

宮城県角田市

基金全体

(増減理由)

積立を実施した主なものとして、財政調整基金については令和5年度の決算剰余金1億8,785万円を、ふるさと応援基金については25億5,847万円を、学校施設整備基金については3億円を、さらに新たに創設した阿武隈急行線応援基金に5億円、教育振興基金に2億円を積み立てた。一方で、財政調整基金については歳入歳出の財源不足に対応するため2億円取り崩し、減債基金については臨時財政対策債及び令和元年東日本台風風災害復旧事業に係る元金償還に対応するため3億円を、ふるさと応援基金については第6次長期総合計画における重点プロジェクトに位置付けられた事業に充当するため17億円を、公共施設強靱化対策基金については公共施設の長寿命化改修事業及び道路施設維持事業のため1億4,400万円を、子ども子育て未来基金については学校給食費の無償化や保育料の一部無償化に伴い支出が増加した施設型給付費、子ども医療費助成事業のため1億6,500万円を取り崩したことなどにより、基金全体としては13億5,142万円の増となった。

(今後の方針)

地域に欠くことのできない公共交通機関である阿武隈急行線の存続と利用促進を図るための阿武隈急行線応援基金や老朽化した学校施設の整備のための財源確保を目的とした学校施設整備基金、その他の特定目的基金の積み増しを予定しており、またふるさと納税寄付金が増加傾向にあることから基金全体としては増加が見込まれる。

財政調整基金

(増減理由)

令和5年度決算剰余金1億8,785万円を積立てた一方で、歳入歳出の財源不足に対応するため6億円取り崩したことにより減少した。

(今後の方針)

令和3年3月策定の「角田市第5次行財政集中改革プラン」（令和3年度～令和8年度）における取組項目の中で、財政調整基金の残高に関しては、標準財政規模の10%以上を確保するために十分な額として各年度末において12億円以上の保有を目標としている。

減債基金

(増減理由)

普通交付税において後年度の臨時財政対策債の償還に係る元利償還金の一部が交付されたこと等により2億円の積み立てを行っているが、臨時財政対策債や歳入欠かん債、令和元年東日本台風風災害復旧事業に係る元金償還に対応するため3億円取り崩したことにより減少した。

(今後の方針)

令和7年度以降も令和元年東日本台風風災害復旧事業や福島県沖地震災害復旧事業に係る元金償還の増への対応のほか、財政の健全性向上のための繰上償還実施のため取り崩し額を増加させる見込みである。

その他特定目的基金

(基金の使途)

公共施設強靱化対策基金：事前防災及び被災等に資する公共施設の整備及び大規模な改修に関する事業の計画的な推進
ふるさと応援基金：ふるさと納税により納められた寄付金について、寄付者の指定した重点事業へ充当されていることを明確化
子ども子育て未来基金：未来を担う子どもたちが健やかに生まれ、育つことのできる環境を整え、子育てにやさしいまちづくりの推進
学校施設整備基金：角田市が設置する学校施設の整備
阿武隈急行線応援基金：地域に欠くことのできない公共交通機関である阿武隈急行線の存続及び利用促進

(増減理由)

公共施設強靱化対策基金：事前防災及び被災等に資する公共施設の整備及び大規模な改修に関する事業に充当するため、1億4,440万円を取り崩した。
ふるさと応援基金：寄付者の指定した各重点事業へ充当するため、17億円を取り崩したが、25億5,847万円を積み立てたため基金残高は増となった。
子ども子育て未来基金：学校給食費無償化や保育料の一部無償化、子ども医療費助成事業に充当するため、1億6,500万円を取り崩した。
学校施設整備基金：基金の目的を達成するため、3億円を積み立てた。
阿武隈急行線応援基金：基金を創設し、5億円を積み立てた。

(今後の方針)

公共施設強靱化対策基金：公共施設の老朽化対策及び防災・減災構想に係る事業に充当するため、取崩しを予定する。
ふるさと応援基金：角田市の重点事業に充当するため、取り崩しを予定する。
子ども子育て未来基金：子ども医療費助成事業等に充当するため、取崩しを予定する。
学校施設整備基金：老朽化している学校施設の今後の整備のため、積み立てを予定する。
阿武隈急行線応援基金：阿武隈急行線の運航継続支援のため、取崩しを予定する。